

科目名	異文化と言語B	科目コード	1139	単位数	2
担当者名	原子 智樹	開講セメスター	第2セメスター	開講年次	1年次

● 授業のねらい

「異文化と言語A」と同様に複数の側面から英語の日本語訳について実際と限界とを概観します。それにより両言語間の違いが諸々の文化的違いにつながっていることがわかるように学びます。このためには、英語の日本語訳に興味があり、かつコンピュータ(パソコン)の基本操作(ファイル操作、ワープロソフトおよびブラウザ)を理解している受講者が望ましいです。春期セメスターに引き続き、別のリソースを用い同様の過程で実施します。また希望者は、本科目で定めた形式でレポートを作成し、添削を経て口頭発表します。

● 到達目標

印刷英文書類・インターネット上の英文書類の基本を理解することを目指します。また、レポート作成を選択した受講者は、参考書R1に定めた手順でレポートを作成し、その発表を通じて自らを客観的に振り返られる素地とします。

● 授業内容

- 1週目 「異文化と言語B」概要解説
- 2週目 レポート作成の説明
- 3週目 英文ホームページの基本
 - 検索サイトによるインターネット上の英語ウェブサイト検索
 - インターネット上の辞書サイト
- 4週目 英文ホームページの日本語訳について
 - インターネット上の翻訳サイト、他
 - インターネットサイト使用による結果と限界
- 5週目 英文レター・Eメール・FAX等の基本
- 6週目 英文レター・Eメール・FAX等の日本語訳について
 - / レポート作成の確認
- 7週目 英文レター・Eメール・FAX等の日本語訳実例 [1] (英文レター)
- 8週目 英文レター・Eメール・FAX等の日本語訳実例 [2] (Eメール・FAX)
- 9週目 企業概要紹介英文の日本語訳実例 [1] (電気業関連)
- 10週目 企業概要紹介英文の日本語訳実例 [2] (建設業関連)
- 11週目 一般の英文読解例
- 12週目 特殊な英文読解初歩
- 13週目 新聞・ネット新聞の英語の初歩 [1] (特異な文法)
 - / レポート締切
- 14週目 新聞・ネット新聞の英語の初歩 [2] (日本語訳実例)
- 15週目 レポート発表 (第1回)
 - 他のメディアにおける日本語と英語(英文に対し数種類の日本語訳)
- 16週目 レポート発表 (第2回) / 前回までの主な内容のまとめ

● 準備学習(予習・復習)等の内容

開講後に配布するブックレットに記した内容の復習が随時必要です。また、5週目から8週目の内容は、覚えるに十分な復習時間を要します。他にも、レポート作成を選択する受講者は、レポート作成の準備(6週目)から完成(13週目)の期間に各授業時間数の倍程度を要する見込みです。

● 成績評価の方法・基準

- 1 課題(各週授業内の諸々の課題) 45%
- 2 小レポート 数回(授業時間内での簡易レポート) 40%
- 3 任意で【参考書 R1 第4章】に準じたレポート作成およびその発表
 - a レポートは複数回の添削(提出・返却)を経て完成させます。
 - b レポートの口頭発表。 2a, 2bで15%

● 履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

内容・予定の微調整は講義担当者の判断に委ねられます。
 授業についての連絡は研究室扉横に都度通知します。
 上記3の「レポート作成およびその発表」を選択する受講者は講義開始後に参考書 R1 を購入してください。
 諸課題の途中経過への論評は配布するブックレットに必要な応じ反映します。

● テキスト

特になし

● 参考書

- R1 『10代後半の英語復習サブ・テキスト』 共同文化社 ¥500 (異文化ゼミナルと同じ。)(R1は地下1階生協でのみ販売。)
- R2 英和辞典(電子辞書も推奨)
- R3 [配付資料] コンピュータ・ファイル / 印刷物、他に適宜紹介。

● 更新日付

2019/01/22 02:50